

子育て支援事業について

佐藤 秀行



り強く要望しています。

◎高齢者福祉事業について

〔質問〕本に親しむ機会が増え、国語力、集中力、想像力などの向上につながることを願い、多子世帯への経済的負担を軽減するため、小学校入学祝い金として3万円分の図書カードを保護者に贈呈している。第3子以降の子に対してというのを、第1子から贈呈することはできないのか見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕決して第3子以降に特化する必要はないと考えることから、拡充について十分検討していきたい。県の事業なので、県に「第2子から」に拡充していただき「第3子」に拡充していただきたい旨、これまで要望しているが、今後も粘

り強く要望しています。 ◎高齢者福祉事業について

がら、対象者全員に贈呈できるよう前向きに検討していきたい。

◎教育全般について

〔質問〕白石市教育施策として、教育環境の整備、施設設備の充実を掲げている。本市の小中学校において、現時点で校長室にエアコンが設置されていないところがある。今年のような猛暑、酷暑が来年度以降も十分考えられる。早急に設置すべきと考えるが、このことについて見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕本定例会の補正予算に提案している。校長室は来客への対応などさまざまな側面を持っており、今年のような猛暑、酷暑が来年度以降も考えられることから、校長室へのエアコン設置が必要と判断し、これまで検討を重ねてきた。年度内の設置完了を見込んでいる。

がら、対象者全員に贈呈できるよう前向きに検討していきたい。

国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料について

角張 大治



◎公立刈田総合病院について

〔質問〕前年同月比で収入と費用の増減比率を伺う。

〔答弁〕〔病院事業管理室長〕上半期の収益増加率が100.72%、費用増加率は96.43%となっている。

◎国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料について

〔質問〕公立刈田総合病院に限らず、医療機関受診者が増えるほど保険財政を圧迫するが、市としてどう考えるか。

〔答弁〕〔健康推進課長〕医療保険制度を維持するには医療費抑制が望まれる。生活習慣病発

症や重症化予防が重要であり、万病気になった場合に備え地域医療確保に努める。

〔質問〕今年度、国民健康保険税が引き上げられたが、今後、引き上げの可能性はあるか。

〔答弁〕〔健康推進課長〕宮城県では令和12年度までに保険税水準統一方針を示している。財政状況を注視し、持続可能な医療制度のため検討する。

〔質問〕医療分野は受益者負担の考えが成り立たない分野の一つである。今後の医療費の見通しを示すのが管理、運用する行政の責務だと思いがいかがか。

〔答弁〕〔健康推進課長〕令和3年度のデータによると、本市の一人当たりの国民健康保険料調

定額は7万4千127円で県内32位。一人当たりの医療費は42万6千622円で県内14位。調定額に対し、医療費が高い状況である。

次期見直しの令和6年度に、令和7年度の改定を検討していく予定である。

◎本市の保険事業と保健事業について

〔質問〕健康増進に関する取り組みはあるが、保険制度について医療費の増加、税の増加の推移を示し、ある程度危機感を促すといった取り組みも必要だと思いがいかがか。

〔答弁〕〔市長〕自らの健康維持は、加入する医療保険の財政運営にも貢献することから、健康づくり分野の各種事業の際に、医療保険制度についても周知する機会を設け、理解を深める取り組みを実施していきたい。